

学生など233人に 奨学証書を授与

飯塚毅育英会

県内高校から大学に進学する学生などを給付型奨学金で支援する飯塚毅育英会（飯塚真規理事長）は25日、宇都宮市内で2025年度の奨学証書授与式を行った。

奨学生は昨年より1人少ない233人（一般230人、外国人留学生3人）。式では奨学生を代表し、東京芸術大美術学部に進学する壬生町、広瀬虹光さんが飯塚理事長から奨学証書を

受け取った。

飯塚理事長は同育英会の設立の経緯などを説明し、「大学での学びを通して、皆さんが立派な社会人となることを祈念している」とあいさつした。

自治医科大医学部に進学する鹿沼市、戸澤珀登さんは「大学で人格の陶冶に務め、健康を増進し真剣に学業に励む」と誓った。



奨学生を代表して飯塚理事長（左）から奨学証書を受け取る広瀬さん。25日午後、宇都宮市